

第23回（令和4年度）評議員会（外部評価委員会） 評議員からのコメント

第23回（令和4年度）評議員会（外部評価委員会）

○開催形式：書面による開催（R5.3月）

○送付資料：

- ・説明資料1…八戸高専のSTEAM教育と新たな入学者選抜制度「国際的エンジニア育成特別選抜」の創設について
- ・説明資料2…八戸高専のいじめ防止への取り組みについて
- ・その他参考資料
令和3年度年度計画・実績報告、令和3年度行動計画とその取り組み結果報告書、
令和4年度行動計画、学校要覧、カレッジガイド、学生便覧、地域テクノセンター報

コメント

英語検定において貴校が日本英語検定協会から、合格者数、受験率の高さにおいて2年連続表彰を受けたことは、グローバルエンジニア育成のための英語教育にいかに注力しているかの表れと感心させられます。自主探究においては、世界に目を向けることも大切ですが、昭和の時代に高専誘致に汗を流した先人たちの思いに報いるべく、八戸の工業、水産業の諸課題に目を向けた人材育成を図ってほしいと思います。

（STEAM教育）

高専といえば、実学中心で、即戦力を育てるところというイメージを持っていました。最近の取組をみていますと、創造力を育てることに方向転換したように思えます。私個人の意見としては、Arts/Liberal Artsは、理数教育と同列に位置づけられるのではなく、その根底にあるものだと考えています。東工大のリベラルアーツ研究教育院の取組が参考になると思います。

（いじめ防止）

力を入れて取り組んでいることが窺えます。学生、生徒が信頼し、安心して相談できる体制を作ることが大切です。相談担当者の育成、専門家（カウンセラーなど）の確保が必要と思います。

八戸工業高等専門学校におけるPBL型STEAM教育は、高い専門性と技術力を有し、自ら課題を見出すことで設定し、多様な人とのコミュニケーションにより、新たな価値と

ビジョンを創造し課題解決に取り組む人材の育成に資するものであり、高く評価されます。また、STEAM 教育支援センターを中心とした出前授業や公開イベント、「国際的エンジニア育成特別選抜」の導入は、教育未来創造会議「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」（第1次提言）で述べられている理工系人材育成方針に合致するものといえ、今後も継続発展させていくことを期待しております。

「コロナ感染状況が貴校の活動を大幅に狭めており、それが在学生の成長機会を奪っている、または潜在能力を毀損させていると認識いたしました。

同感染対策の緩和により、従来は実施されていた計画はもちろんのこと、これを機会として新たに実施する計画、見直す計画を立案のうえ実施いただきたいと思います。

特に、①貴校が優秀な学生（人材）を確保するための中学生向け、地域向け広宣・周知活動や公開講座の開催増加

②北東北三国立大学に比べて社会連携実績が少ない状況の改善のための方策立案と行動

③情報科学人材育成のための他理系大学との連携

をお願いいたします。」

・平成27年度に導入した「自主探究活動」や、公開講座・出前授業等の実施により、これまでも先駆的にSTEAM教育を実践されてきたが、圏域市町村の教育委員会や小中学校との連携を一層強化するため、今年度新たに「STEAM教育支援センター」を設置し、地域のニーズを取り入れたSTEAM教育プログラムの実施に取り組まれており、地域の教育活動に大いに貢献されている。

・また、世界で活躍できる技術者を育成するため、独自の入学者選抜制度である「国際的エンジニア育成特別選抜」を創設し、高専入学前から早期にSTEAM教育を実施する体制を構築されており、高く評価できる。

・「STEAM教育支援センター」では、地域企業や美術館等と連携した各種イベントの開催を予定しているということで、本市美術館等と連携した取組を積極的に展開していただくことを期待する。

・さらに、今後は市や経済界とも連携し、若者の地元定着や将来的な地元への回帰を促す取組の推進が図られることを期待したい。

・いじめ防止への取組について、「企画調整部会」及び「調査対策部会」を有する「いじめ対策委員会」を組織しており、いじめ問題に組織的に対処する体制が整備されていることに加え、学生を対象とした年4回のいじめに関するアンケート調査など、いじめの早期発見に向けた取組が着実に実施されている。

・自己点検・評価において改善点として挙げられていたとおり、4～5年生を対象としたいじめ防止の取組についても着実な実施が望まれる。

- ・ いじめ防止対策として、継続的に「いじめ防止プログラム」が実施されており、評価できる。
- ・ 自己点検・評価票にあるように、4年生、5年生に対する取り組みの充実を期待する。
- ・ 自主探究から STEAM 教育の本格的実施に発展して、STEAM 教育支援センターが整備されたことは高く評価できる。また、STEAM 教育の実践に関係する小中学生に対する公開講座も評価できる。
- ・ これらの教育効果およびその検証等について、日本工学教育協会の講演会や論文投稿を通じて積極的に公表されることと望む。
- ・ 国際的エンジニア育成特別選抜は、単に国際的エンジニア育成ではなく、小中学生段階での理工系離れを防ぐ魅力的な試みとしても注目される。まずは地域での認知度の向上のための積極的広報活動を期待する。
- ・ STEAM 教育同様、国際的エンジニア育成に関する教育効果およびその検証等についても、日本工学教育協会の講演会や論文投稿を通じて積極的に公表されることと望む。

砂山を高くしようと思えば、裾野を広げなければ、砂山の高みが作れません。専門教育（専門）性を高める、というのはこの砂山の高みと同じことだと思います。一般教養に支えられない限り、結局は専門性の高みはつくれない。技術をどう生かすか？は、究極的には、人間とは何か？人間の幸せとは何か？といった根源的な問いに自分なりの答えが出せなければ達成できないと思います。この様な人材を育成する為に、STEAM 教育という考え方が資するものだと思います。

○STEAM 教育関係

自主探究活動との関連で、最近目にする事が多くなった STEAM 教育については、新学習指導要領で目指す中学生の姿にも共通するところであり、今後更に進められていくと考えます。

これに伴い、貴校の入学者選抜において、国際的エンジニア育成特別選抜が実施されました。選抜方法についても、当日テーマが与えられ、時間をかけて処理・解決していく方法が取られており、斬新に感じました。

中学校においては、貴校進学希望者に限らず、目的意識をもった進路指導を進めているところですが、目標が「〇〇高校合格」となっている傾向は未だに続いており、正に目的と手段が混在した状態であるのが現状です。今後、貴校の取り組みに注視し、生徒に対しても一層進んだ指導を進めていく必要性を感じております。

○いじめ防止対策関係

大変緻密な計画・対策が立てられており、いじめ等の発生を未然に防ぐ意気込みを感じます。面談後の学生の感想も、包み隠さず紹介するなど、形式ではない真剣さが伝わってきました。

○全般・その他

今年度、評議員に任命され、できる限り貴校の様子に触れたいと思っておりました。国際寮の落成式や、先日の卒業証書授与式などに参加し、科学技術の最先端に直結している研究機関であるような雰囲気を感じました。高等学校と同列に捉えてしまってはいけないと、改めて思いました。

貴校においても進学者の割合が増加しているとはいえ、高等学校に比べると、貴校の先には実社会が見え隠れします。そうした位置にある貴校のアンテナは、我々中学校にとって、とても刺激的に見えます。日本全国ではなく、全世界を視野に入れた教育・研究の場として、非常に貴重であると思います。

八戸市にこうした先進校があり、中学生がその雰囲気を感じることができるのは、幸せなことに違いありません。中学校としても、その優位性を理解し、生徒への周知を一層進めていかなければいけないと思います。

STEAM 教育素晴らしい取組だと思えます。国際的に活躍できる人材の育成が将来的に、地元還元される事を期待しています。

いじめ防止関係は寮などもあり目の届きにくい部分もあろうかと思いますが、十分に対策されていると感じました。